

第15回： ウォーターフロントと水環境

開催日： 1989年8月30日～31日 / 会場： 「日本自動車会館」東京都

開催趣旨： 近年、日本の産業構造が大きく変わりつつある中で、水辺の魅力と有用性が人々に広く認識されるようになり、改めてその重要性が問われています。このセミナーでは、ウォーターフロントでの環境問題に対処するための視点について特集します。経済・産業活動に伴う水棲生物の変遷、浄化活動の事例を述べるとともに、水環境容量に基づく環境管理への新しい概念、ならびにウォーターフロント開発計画への方向づけなどの新しい視点について解説する予定です。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- ウォーターフロント開発に求められる機能—東京湾を例として—（中村英夫・清水英範／東大）
- 水生生物の変遷（湖沼・河川域）—霞ヶ浦の水生植物の近年における変遷—（桜井善雄／信州大）
- 水生生物の変遷—海域—（松川康夫／水産庁）
- 東京湾における底生動物と水質（風呂田利夫／東邦大）
- 閉鎖性水域での水環境問題—琵琶湖汚染の社会・文化的構造—（嘉田由紀子／滋賀県琵琶湖研）
- 半閉鎖性水域での水質問題—中海・宍道湖—（伊達善夫／島根大）
- 都市河川の親水化活動（川原浩／東京都環科研）
- 東京湾臨海部における「親水護岸と人工海浜」（清水政雄／東京都港湾局）
- 流域構造から見た環境容量と環境管理（仲上健一／立命館大）
- ウォーターフロント関連法規にみる開発と水環境（黒瀬英治／環境庁）
- 環境制御技術（堀江毅／運輸省）